

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2005-29668 (P2005-29668A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-005
 【出願番号】特願 2003-195294 (P2003-195294)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/12 (2006.01)
C 0 8 K 3/40 (2006.01)
C 0 8 L 63/00 (2006.01)
G 0 2 B 1/04 (2006.01)
G 0 2 F 1/1333 (2006.01)
G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/12
 C 0 8 K 3/40
 C 0 8 L 63/00 C
 G 0 2 B 1/04
 G 0 2 F 1/1333 5 0 0
 G 0 2 F 1/1335

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 透明樹脂 (a) 及びガラスフィラー (b) からなり、透明樹脂の硬化後の光弾性定数が $2.0 \times 10^{-12} \text{ Pa}^{-1}$ 以下であることを特徴とする透明複合体組成物。

【請求項 2】 前記透明樹脂 (a) の硬化後の屈折率とガラス繊維 (b) の屈折率との差が 0.01 以下である請求項 1 の透明複合体組成物。

【請求項 3】 前記透明樹脂 (a) の硬化後のアップ数が 45 以上である請求項 1 または 2 の透明複合体組成物。

【請求項 4】 透明樹脂がエポキシ樹脂である請求項 1 ~ 3 いずれかの透明複合体組成物。

【請求項 5】 前記ガラス繊維 (b) の屈折率が 1.50 ~ 1.57 である請求項 1 ~ 4 いずれかの透明複合体組成物。

【請求項 6】 30 ~ 150 における平均線膨張係数が 40 ppm 以下である請求項 1 ~ 5 いずれかの透明複合体組成物。

【請求項 7】 厚さが 50 ~ 2000 μm のシートである請求項 1 ~ 6 いずれかの透明複合体組成物。